.....

作成:平成23年4月1日 更新:平成30年5月14日

Internet Explorer 「通知バー」に関する対応方法について

目 次

1.	はじめに
2.	「通知バー」の対応方法2
3.	セキュリティサイトの説明とサイトの登録方法2

1. はじめに

ここでは、Internet Explorer の利用時に表示される「通知バー」の対応方法と、「通知バー」の表示に関係するセキュリティサイトの登録について説明します。

「通知バー」は次のような場合に表示されます。

- ・ポップアップを開くとき
- ・ファイルをダウンロードするとき
- ・ActiveX コントロールをインストールや、実行したとき
- ・アドオンにより Internet Explorer の処理速度が低下したとき

「通知バー」はWebサイトの閲覧にはほとんど支障がありませんが、安全性が確認 されたWebサイトでは煩わしく思うこともあるかもしれません。その場合、「3. セキ ュリティサイトの説明とサイトの登録方法」を参照のうえ、設定してください。セキ ュリティサイトに登録すると、ActiveXに関する通知は表示されなくなります。

※「通知バー」は重要なステータス情報を表示するものです。Web サイトの中には悪意のあるサイトもあります。安全性が確認されたWeb サイト以外のWeb サイトをむやみにセキュリティサイトとして登録するのはお止め下さい。

2. 「通知バー」の対応方法

 Internet Explorer を利用している途中で、下図のように「通知バー」といった表示 と、ポップアップ画面が表示されることがあります。今回はダウンロード時に表示さ れたものを例に説明を行いますが、ActiveX に関するプログラムの実行で表示される 場合もあります。

					19
ccmybox.kyoto-su.ac.jp から test.txt (11 バイト) を開くか、または保存しますか?	ファイルを開く(<u>O</u>)	保存(<u>S</u>)	-	キャンセル(の)	×

 「ファイルを開く」をクリックするとファイルを開き、「保存」をクリックすると、 標準設定では「ダウンロード」フォルダに保存されます。「保存」の横の「▼」をク リックすることで、「名前を付けて保存」を選択することができます。

ccmybox.kyoto-su.ac.jp から test.txt (11 パイト) を開くか、または保存しますか?	ファイルを開く(O)	保存(S) < キャンセル(C)	×
		保存(S)	
		名前を付けて保存(A) 保存して開く(O)	

3. セキュリティサイトの説明とサイトの登録方法

「通知バー」で要求される内容は、Internet Explorerの設定にあるセキュリティ 基準をもとに判断された後に要求される内容で、ファイルダウンロード時の確認や、 ActiveXの実行に関する確認時に多く見られます。この Internet Explorer のセキュ リティ判断基準は、次の4つの区分で管理されており、それぞれ対応した項目に内容 を追加できます。

インターネット:

インターネットとは、以下の「ローカル イントラネット」「信頼済みサイト」 「制限付きサイト」にあてはまらない全ての Web サイト。

ローカル イントラネット:

会社のイントラネット上にある全ての Web サイト。

(本学の学内ネットワーク環境にある Web サイト)

信頼済みサイト:

コンピュータやファイルに損害を与えないと信頼できる Web サイト。

制限付きサイト:

コンピュータやファイルに損害を与える可能性がある Web サイト。

ここからは、学内環境を例に「信頼済みサイト」の登録について説明します。

■■ コンピュータ環境の使い方 ■■

.....

1) まず、許可したいホームページを Internet Explorer で表示させます。次にメニュー の「ツール」にある「インターネットオプション」を選択します。 ※標準設定で「メニュー」は表示されていません。「メニュー」を表示させるに は、キーボード上にある ALT キーを押してください。



【インターネットオプション】の「セキュリティ」タブを選択し、「信頼済みサイト」を選択、さらに「サイト」を選択します。

インターネットのプロパティ ? X セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 全般 プログラム 詳細設定 セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。 インターネット 制限付きサイト ローカル イントラネッ 信頼済みサイト 信頼済みサイト サイト(5) このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと 信頼している Web サイトが含まれています。 このゾーンに属する Web サイトがあります。 このゾーンのセキュリティのレベル(L) このゾーンで許可されているレベル:すべて 由 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。 - 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P) レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D) すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R) OK キャンセル 適用(A)

3) 【信頼済みサイト】のサブウィンドウが表示され、「このWebサイトをゾーンに追加 する」の枠に、今回登録したいホームページのURLが入力されている状態であること を確認し、URLに間違いがなければ「追加」を選択します。なお、今回の場合のよう に、暗号化されていない(https://からは始まらない)URLを登録する場合は、サブ ウィンドウ内にある「☑このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必 要とする」のチェックを外して追加する必要があります。

■■ コンピュータ環境の使い方 ■■

自有済みサイト	×
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーン べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。	ンの Web サイトす
この Web サイトをゾーンに追加する(<u>D</u>):	
http://www.kyoto-su.ac.jp	追加(<u>A</u>)
Web サイト(<u>W</u>):	
	削除(<u>R</u>)
」 このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要とする	(<u>S</u>)
	閉じる(<u>C</u>)

4) 問題なく登録されると、下図の状態となります。

🚱 信頼済みサイト	×
このゾーンの Web サイトの追加と削除がて べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用され	できます。 このゾーンの Web サイトす れます。
この Web サイトをゾーンに追加する(<u>D</u>):	
	追加(<u>A</u>)
Web サイト(<u>W</u>):	
http://www.kyoto-su.ac.jp	削除(<u>R</u>)
└ □このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (http	s:)を必要とする(<u>S</u>)
	閉じる(<u>C</u>)

以上の作業により、【http://www.kyoto-su.ac.jp/】のURLが「信頼済みサイト」 に登録され、信頼できるサイトとしてセキュリティ判断基準が緩和された状態で処理 されることになりました。

以上